

4 DVD 性格チェック

子猫の様子から、それぞれの性格を把握しましょう。どのような性格の子猫なのかを把握することは、譲渡の際のマッチングに非常に役に立ちます。また、性格を踏まえたうえで、より譲渡に適した猫にするための社会化（詳細は36ページ）を適切に行っていきましょう。

日常の観察

給餌や清掃など、日常のケアの中で、子猫がどんな反応を示すのかを注意して観察するようにしましょう。特に気づいた点があれば、個体管理シート等に記入しておくといいいでしょう。



性格チェック

各施設で統一した性格チェックリストを作り、その項目に従って、個体ごとにチェックしてみましょう。同じ基準でチェックすることによって、それぞれの性格を把握しやすくなります。



性格チェックの方法例

1 子猫のケージに近づき、様子を観察する



2 やさしく声をかけながら、ケージに手を近付け、子猫を誘ってみる



3 扉を開けて、子猫の体を直接触ってみる
※このとき、逃亡されないように、扉は小さく開けるなどの注意をする。



4 やさしく抱き上げてみる



5 扉を閉め、猫用のおもちゃで、遊びに誘ってみる



性格チェックにおける子猫の行動パターン

性格チェック①～⑤の反応で、よく見られる行動を表にしました。わかりやすいように大きく、「活発な子猫」「ノーマルな子猫」「シャイな子猫」の3つに分類してあります。

チェック項目	「活発な子猫」 によく見られる行動	「ノーマルな子猫」 によく見られる行動	「シャイな子猫」 によく見られる行動
1 人が近づく	<ul style="list-style-type: none"> ● すぐに寄ってくる ● 喉を鳴らす ● 甘えた声を出す ● しっぽをたてる ● 体を扉に擦りつける など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人を見ている ● しばらくして寄ってくる ● 扉の近くまで来る ● 興味深そうに近づく ● 声を出す など 	<ul style="list-style-type: none"> ● ケージの隅まで逃げる ● 隅でかたまっている ● 体を小さくしている ● 瞳孔が開く など
2 子猫を誘う	<ul style="list-style-type: none"> ● 体全体を指に擦り付ける ● 顎や頬を指に擦り付ける ● 喉を鳴らす ● 甘噛みをする ● 前足でじゃれる など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 指の匂いをかぐ ● 指の動きを見ている ● 寄ってきたり離れたりする ● 落ち着きなく左右に動く ● 遠巻きに見ている など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 隅でかたまっている ● さらに奥に逃げようとする ● 体の姿勢が低くなる ● 顔をそらす ● 瞳孔が開く ● 毛が逆立つ など
3 扉を開けて 体を触る	<ul style="list-style-type: none"> ● 扉から飛び出ようとする ● 人の手に体を擦り付ける ● 仰向けになってじゃれる ● 甘噛みをする など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 手に寄ってくる ● 気持ちのいい場所は受け入れ、いやなところを触られると離れる ● 手の動きを見ている ● 近づいたり、離れたりを繰り返す など 	<ul style="list-style-type: none"> ● びくっとする ● 顔をそむける ● 毛が逆立つ ● 耳が後ろに倒れる ● 触られてもかたまっている ● 触られると皮膚がびくびく動く ● ゆっくり逃げようとする など
4 抱き上げる	<ul style="list-style-type: none"> ● 腕のなかでもがく ● じっとしていない ● 床に飛び降りようとする ● 周りに興味を示す ● 人にじゃれる など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一瞬抱かれるが、すぐにケージに戻る ● しつこくすると嫌がる ● 大人しく受け入れる ● 周りを警戒する ● 人との接触に徐々に慣れてくる など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 逃げ回って抱けない ● かたまる ● 震える ● 心拍数が上がる ● 必死にケージに戻ろうとする ● 爪をたてる など
5 おもちゃで遊ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ● よくじゃれる ● ジャンプする ● 集中して飽きずに遊ぶ など 	<ul style="list-style-type: none"> ● しばらく目で追う ● じゃれる ● 周囲が気になるとやめる ● 短時間で飽きる など 	<ul style="list-style-type: none"> ● かたまっている ● 顔をそむける ● 姿勢を低くして、目だけで動きを追う ● おもちゃを動かしている人から視線を外さない(恐怖) など

注意

ここに記したのは、よく見られる行動の一部です。このほかにも、子猫によってさまざまな行動が見られます。ひとつの行動だけで性格を判定するのではなく、子猫全体の動きや表情をよく観察し、日常の様子や他のスタッフの意見を参考に、総合的に判断してください。多くの子猫を観察し、性格チェックの経験を積むことで、よりの確な性格判定とマッチングができるようになるでしょう。

性格判定

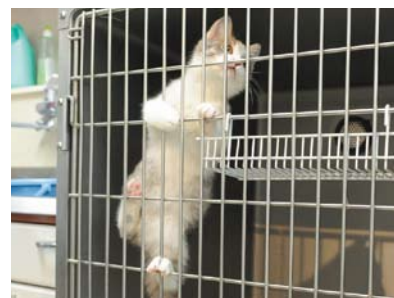
性格チェック①～⑤の反応を踏まえて、性格を把握します。

子猫の場合は、大きく「活発」「ノーマル」「シャイ」の3つに分類するとわかりやすいでしょう。

活発な子猫とは

人や環境になじみやすく、様々な事に興味を示します。

人に抱かれることを受け入れ、のどを鳴らしながらじっとしていたかと思えば、歯や爪を使った遊びをはじめたり、なかなか落ち着きません。他の猫を遊びに誘ったり、オモチャに活発にじゃれつくなどの行動もよく見られます。人が近づくと、ケージの柵越しに体をすりつけ、よく鳴く個体も多いでしょう。



ノーマルな子猫とは

人や新しい環境に対して最初はうすくまったり、緊張しつつ相手を観察していますが、少し時間が経ち、人との接触時間が増えるにつれて徐々に慣れ、落ち着いてきます。

良く慣れた人や猫、オモチャには積極的なアプローチが見られます。逆に、見知らぬものには、はじめは慎重な態度をとる個体が多いでしょう。



シャイな子猫とは

人や新しい環境に対して、かたまる、逃げるなどの恐怖反応を示します。人の手が近づくとより体を小さくし、威嚇のために唸り声や威嚇音を発することもあります。狭いケージの中では常にケージの奥に居て、隠られるような場所があれば、その中に身を潜めようとします。数日～数週間、怖がらせることを極力避け根気よく穏やかに接し、フードを与える時間やオモチャで遊ぶ時間等を利用して慣らしていくことで、猫の様子に変化が見られることも多いでしょう。



① 性格チェックを行う時の注意

飼養期間中に、何度か行くと、子猫の反応が変化してくることも気づくでしょう。特に成長期にある子猫の性格はまだ形成途中なので、環境や人に慣れてくることで、急激に変化する場合も多いのです。収容された初日に、人を見て威嚇していた子猫が2～3日後には、ひと人にすり寄ってくるというような大きな変化もよくあります。一度のチェックで「攻撃的で譲渡には不向き」と決めつけず、様子観察をすることが大事です。また、脱走されないように、扉を開閉には十分注意してください。

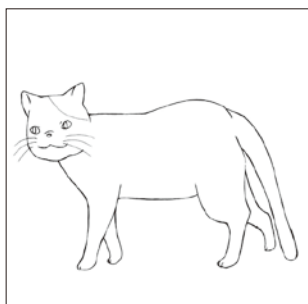
猫のボディランゲージ

猫は、目・耳・口・手足・しっぽの微妙な動きや、体の姿勢、相手との距離の取り方などで、気分や意図を表現します。これをボディランゲージと言います。

ボディランゲージを読みとることができれば、子猫の性格を見るのに役立ちます。

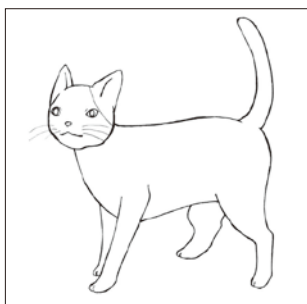
以下は、代表的な猫のボディランゲージです。観察する時の参考にしてください。

1 平常な状態



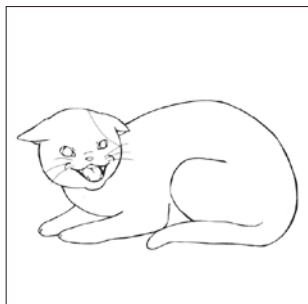
全身に力が入っていない／尾は自然な状態で下がっている

2 喜び



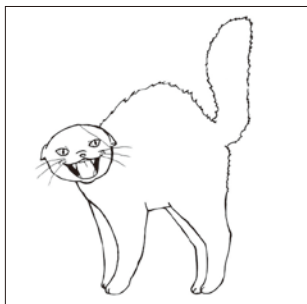
尾を高く上げる／喉を鳴らす／体を揺り寄せる／軽い甘噛みがある

3 恐怖



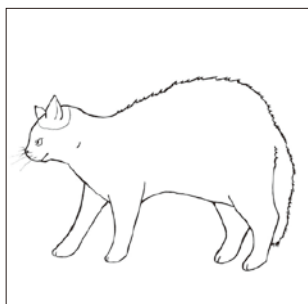
体を低く小さくする／体を後ろに引く／耳を倒す／瞳孔が開く

4 恐怖による威嚇



体が弓なりになる／尾がブラシ状になる／完全に耳を倒す／瞳孔が開く／口角を後ろに引く

5 攻撃（能動的）



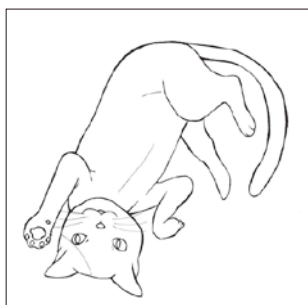
体を大きく見せる／前のめりの姿勢になる／耳を前に倒す／低いなり声／相手ににじり寄る

6 不快



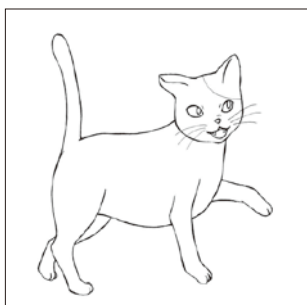
尾を左右に振る／耳がびくびく動く

7 遊びに誘う



仰向けになる／全身に力が入っていない／突然甘噛みをする／じゃれる

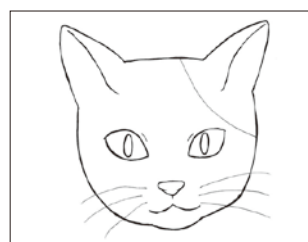
8 遊びに誘う



尾をたてる／尾をくねらせる／前足でちよっかいをだす

表情の変化

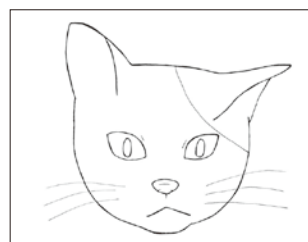
1 リラックス



力が入っていない／瞳孔は閉じている／耳は自然な状態で前を向いている



2 不安・緊張・葛藤



耳がびくびく動く／口元がやや緊張する



3 恐怖による威嚇



耳が後ろに倒れる／瞳孔が開き始める／唸り声、威嚇音



4 恐怖による攻撃



耳が完全に倒れる／口角が後ろにひかれる／瞳孔が開く